

令和3年度学校評価の結果を受けて 令和4年度2年生の課題と対策

課 題	対 策
<p>○ あいさつや無言清掃、時間感覚など基本的な生活習慣が今一步定着しきれていない。最低限のことは行っているが、「積極的に」や「丁寧に」という部分に課題がある。</p> <p>○家庭学習の習慣化の二極化。</p> <p>○不登校、不登校傾向の生徒の多さ。家庭との連携や支援体制について課題がある。</p> <p>○学力。特に英語の力をどうつけていくかが課題。</p>	<p>○2月を多中アクションプラン強化月間として、あいさつ、無言清掃、時間感覚など教師が意識をして指導をしていく。2月中に新たに決まったリーダー（生徒会役員、副委員長）を中心に学年集会を行い、来年度へ向けて意識の向上を図る。</p> <p>○コツコツノートを「しない」「できない」生徒へのフォローアップとして、ピロティに各教科の課題(簡易なもの)を置き、自由にとって持ち帰れるようにする。特に英語の課題を勧め、英語力アップを図る。</p> <p>○SC や児童家庭支援センターとのつながりを積極的に行い、連携して学校で行うことや保護者への支援を行う。解消は難しいが、新年度へつながるように道筋を見つける。</p> <p>○朝掃除の前の5分間に英語の基礎的な問題を行う。問題の作成は教科担任に負担がかからないように既成の問題などを利用し、指導は担任を中心に学年職員で行う。</p>